



「缶サット甲子園」和歌山地方大会 ～見事に2年連続優勝を飾る！！～

10月4日(日)、和歌山市内のコスモパーク加太で「缶サット甲子園」和歌山地方大会が開催され、1府2県から計6校が参加しました。大会では、高校生が自作したモデルロケット(空き缶サイズの模擬人工衛星)を打ち上げ、上空での放出・降下・着地の過程を通じて、技術力・創造力を競い、本校の物理ゼミの缶サットチームが見事2年連続優勝に輝き、全国大会の出場を決めました。



向陽体験説明会を開催 ～696人の中学3年生が参加しました～



10月10日(土)、696名の中学3年生が参加して、向陽高校体験説明会が行われました。台風の接近で開催が危ぶまれましたが、前日に発表されていた暴風警報が夜中に解除されたため、実施することができました。今年は新型コロナウイルスの影響で、体育館での全体会は中止され、教室で放送による全体会を行った後、体験授業とクラブ見学を実施しました。

第64回日本学生科学賞県審査

10月6日(火)、第64回日本学生科学賞の県審査が読売新聞和歌山支局で行われ、本校のRS開発班の「通信機を用いたレスキューシステム」が県教育委員会賞を受賞し中央予備審査に進むことになりました。

前期終業式・後期始業式

本校では、10月を境に前期・後期の2学期制を取っており、10月8日(木)には前期終業式が、10月12日(月)には後期始業式が放送を使って行われました。



1年学年行事(遠足)・3年学年行事(たかおカップ)

10月16日(金)、体育祭、文化祭に変わる学年行事として、1年生は遠足、3年生は「たかおカップ」を実施しました。



SS探究科学Ⅲ～IRの是非を問うディベート学習を実施～



10月19日(月)3限目、環境科学科3年生のSS探究科学Ⅲの授業で、「地元和歌山県にIR(カジノを含む統合型リゾート施設)を誘致すべきである。是か非か。」という内容でディベート学習が行われました。IRの誘致については、マスコミにも取り上げられていて、和歌山の将来を左右する問題だけに、白熱した討論が繰り広げられました。審判役は、環境科学科1年生が務め、判定の結果、否定側が肯定側を僅差で上回りました。

硬球を通じた交流 ～紀北支援学校の生徒が本校野球部を訪問～

10月19日(月)の放課後、紀北支援学校の先生と生徒が、リニューアルしたエコボールを届けるために本校硬式野球部を訪問してくれました。硬式野球部では、数年前から紀北支援学校にお願いして、使い古された硬球を新しく縫い合わせてエコボールとしてリニューアルしてもらっています。紀北支援学校の生徒のみなさん、本当にありがとうございます。これからもこの交流が続いていくことを願っています。

